



Press Release

2023年4月4日
中部電力株式会社

原子力に係る公募研究（2023年度研究開始分）の採択結果

当社は、2023年度研究開始分の原子力に係る公募研究について、採択研究を決定いたしましたのでお知らせいたします。

当社は、浜岡原子力発電所のさらなる安全性向上と運営の改善に向け、新たな視点で幅広く技術を見出すことを目的に、2022年12月16日から2023年1月10日まで研究テーマを募集しました。（2022年11月14日お知らせ済み）

これに対して、全国から合計34件のご応募をいただき、社外の学識経験者等を委員とするアドバイザリ・コミッティによる審査を経て、10件の研究を採択いたしました。

募集した研究領域（分野）		応募 件数	採択 件数
領域1	原子力の将来技術に資する基礎基盤的研究	13	3
領域2	原子力発電所の安全性向上に資する研究	14	6
領域3	浜岡原子力発電所1,2号機の廃止措置の改善に資する研究	4	0
領域4	浜岡原子力発電所3,4,5号機の保守性・作業性の向上に資する研究	3	1
合 計		34	10

※具体的な採択件名は「別紙」をご参照ください。

採択した研究は、2024年度末まで研究を実施し、研究終了後に成果を公開させていただきます。

別 紙 : 採択研究一覧
参 考 : 公募研究の募集概要

以 上

<お問い合わせ先>

総務・広報・地域共生本部 報道グループ 052-961-3582

採択研究一覧

研究領域 (分野)	研究件名	研究代表者 (敬称略)
＜領域 1＞ 原子力の将来技術に資する基礎 基盤的研究	積層造形材の長時間クリープ強度特性 評価技術の開発	物質・材料研究機構 澁田 浩太
	高温壁の液膜冷却時におけるクエンチ 速度予測モデルの高度化	電気通信大学 大川 富雄
	高ガンマ線線量率場で動作可能な高検 出効率中性子計数管の開発	名古屋大学 瓜谷 章
＜領域 2＞ 原子力発電所の 安全性向上に 資する研究	その場 WB-STEM 法を用いた亀裂先端 塑性領域の熱緩和可視化	東北大学 吉田 健太
	放射線影響下で測定可能な半導体セン サを用いた非破壊残留応力測定装置の 開発	パルステック工業 丸山 洋一
	圧縮残留応力付与による鋼構造物の疲 勞耐久性向上技術の確立	名古屋大学 判治 剛
	津波漂流物の挙動に関するモデル構築	名古屋大学 富田 孝史
	ヒト組織オルガノイドを用いた放射線 影響評価の基盤構築	東京工業大学 島田 幹男
	重大事故時のための原子力施設敷地ス ケールでの大気拡散・線量の詳細評価 に関する研究	日本原子力研究開発機構 中山 造成
＜領域 4＞ 浜岡原子力発電 所 3,4,5 号機の 保守性・作業性 の向上に資する 研究	画像処理 AI と自然言語処理 AI の融合 による作業支援 AI の開発	東京大学 出町 和之

※採択研究の並び順は、募集領域の分類順かつ応募受付順

以上

公募研究の募集概要

1 応募資格

- (1) 全国の大学、公的研究機関で科学技術研究に従事している研究者で、2の研究領域に関する研究が遂行可能な研究者または研究グループのリーダー
- (2) 静岡県内に研究主体となる事業所があり、2の研究領域に基づいた研究が遂行可能な企業（全国の大学、公的研究機関と共同研究を行う場合も可能）

2 今回募集する研究領域

- 領域1 原子力の将来技術に資する基礎基盤的研究
- 領域2 原子力発電所の安全性向上に資する研究
- 領域3 浜岡原子力発電所1,2号機の廃止措置の改善に資する研究
- 領域4 浜岡原子力発電所3,4,5号機の保守性・作業性の向上に資する研究

3 相談期間・募集期間

- (1) 相談期間：2022年11月14日（月）～2022年12月15日（木）
- (2) 募集期間：2022年12月16日（金）～2023年1月10日（火）

4 研究期間

2023年度開始とし、期間は1年または2年

5 研究費・採択件数

1件あたり上限500万円／年とし、総研究費が約100百万円に相当する件数を採択

6 研究の形態

共同研究または委託研究

7 選考方法

社外の学識経験者等を委員とする「アドバイザリ・コミッティ」を編成して、一次・二次選考を経て決定

以上